

## 2012年度 兵庫県トライスロン協会 総会議事録

1. 開催日：2013年3月31日（日） 10:00～12:15

2. 開催場所：神戸市立兵庫勤労市民センター会議室

3. 出席者：

的場副会長、榎本副会長、渡邊理事長、水野副理事長、仲宗根常任理事、長谷川理事、大原常任理事、岡本治樹理事、武田理事、石飛理事、松尾理事、尾崎常任理事、川崎理事、河合理事、木倉理事、田中理事、増本理事、清水常任理事、太田理事、伊藤氏、山下氏、竹中氏、石原氏、藤井氏、林氏、山本（議事作成）

4. 内容

(1) 開会宣言：渡邊理事長

(2) 定足数の報告：山本事務局長

・会員数 会長以下 638名

出席者 25名（榎本氏を除く）

委任状 219名

・定足数(ジュニアを除く登録会員の3分の1以上)を満たし、総会は成立する。

(3) 会長挨拶：末松会長

・渡邊理事長代読

(4) 議長選出：会長が公務のため、理事会を終えて退出したため、渡邊理事長が議長に選出された。

(5) 議案

● 第1号議案 2012年度事業活動報告：水野副理事長

・議案書により提案。

・2012年度は、理事会を4回開催。

・主催・共催・主管6大会を実施した。

・加西大会については、当日の朝、暴風雨警報発令により、中止決定。

・補足（渡邊理事長）

➤ 加西大会は、我々も経験したことのない当日朝に、警報発令により、中止を決定した。この決定については、JTUからも英断だったとコメントを頂いた。

➤ 2013年度は、国体の正式競技化に向けて、第一次予選会を2/11と3/3の京都と大阪の認定記録会で実施した。国体は、個人戦ではないという認識で準備を進めている。

・第1号議案は、議案書の通り承認された。

● 第2号議案 2012年度収支報告：的場副会長

- ・議案書により提案。
- ・2012年度は、登録会員数の急増により、収入も増えたが、関係機関への諸会費や通信費が増加した。
- ・事業費の増加分は、加西大会の宿泊費やスイム用のブイの購入費。
- ・赤字分は、25周年記念ポロシャツの未回収費 290,000 円を計上したため。
- ・補足（渡邊理事長）
  - 加西の宿泊は、加西市の要請によるもの。今後は、選手を優先頂くとして、協会側は別の宿泊手段を考える。
  - ポロシャツは、理事の大半が購入済。会員限定ではあるが、これから会員向けに売りさばっていくことで、回収する。
- ・補足（水野副理事長）
  - スイムブイは、従来は、和歌山県連合から、30,000 円/1 回借用していた。別に運送費 15,000 円もかかっていた。今後は、明石と加西で使用し、20,000 円/1 回で回収し、減価償却する。
  - 加西大会で購入したスイムキャップは別途ネオシステムから協賛品として提供を得たため、2013 年度の大会分に回す。  
(HTA の備品の詳細は、配付した備品リスト参照)
- ・今年度は、総会が 3/31 開催のため、暫定決算となっている。3/31 時点の正確な数字を出し、5 月の理事会で承認頂く。暫定決算を 4 月末日発行の会報で報告する。
- ・暫定決算の内容、5 月理事会での承認を含めて、第 2 号議案は、議案書の通り承認された。
  
- ・質問：大会運営費はどれくらいか？
 

回答：JTU の大きな大会では、規模も違うが、ローカルの大会では、200 万前後が平均的。各大会は、独立採算。昔の淡路島での国民体育大会は、約 1,200 万円だった。三木、加西大会が 400 万位。ただし、大会運営費用は、HTA が競技主管として参加するため HTA 収支には含まれない。事業費には、審判員派遣費用(宿泊費など)のような、純然たる事業活動費用のみ。

加西の大会の中止に関しては、後から JTU にも相談したが、英断と評価。加西は、今回、踏切を通らないコース変更を考えている。加西は、51.5km を守っていく。(渡邊理事長)
- ・会員数は、200 名位からスタートし、300~400 名で安定していた。それがこの 2 年で大きく伸びた。全国的には、7~8 番目の会員数。ところが、高校生の登録が非常に少ない。空白の年代。高校の拠点校を作るきっかけ が必要。

- ・ちびっこ教室は、2013年度はキョーリンからローソンの特別協賛で行われる予定。近畿は、京都で開催。
- ・県内の地域協会としては、丹波市協会があるが、芦屋市は、芦屋浜アスリートクラブと言う大グループがあり、潮芦屋の大会がある。芦屋市トライアスロン協会も射程内にある。

- ・質問：収支が赤字だが、コストダウンを図り、事業として、収益を出さないと活動の意味がないのではないかと？ 会報の発行を止めてはどうか？

回答：会報は、会員数が増え、物理的作業量、費用面で課題となっていることは認識している。もちろん、メールの活用も考えている。

然しながら、現実的には、メールは、携帯メールが多く、添付ファイルや長文は送れない。こちらから、メールを送っても、返事が来ないケースが多い。不特定多数とのメールによる連絡は難しい。メールと紙との混在による作業の煩雑化、更に未着メールの対応など、課題が多い。年に数回の会員さんとの直接の接点は、重要と考えている。他府県在住者のHTAへの登録者も多く、その方々は兵庫の活動を評価してくださっている。コストパフォーマンス、バランスの取れたコミュニケーションツールを検討していく。(山本事務局長)

→メールを混在させると事務局負荷は増大する。年に数回のアクションは、無駄ではない。営利団体ではないのだから、利益を上げることが最優先ではない。赤字と言っても、それは25周年記念ポロシャツ代金であり、ブイは、将来への投資。財務状態は、決して、悪いとは思わない。(尾崎常任理事)

→メールは、信じてはいけない。無料メールは、どんどん、変わる。  
(竹中氏)

→この財務は、健全と思う。問題ない。(大原常任理事)

- ・他の出席者から、異論はなかったので、検討しながら会報の発行は行っていく。(渡邊理事長)

### ● 第3号議案 2013年度事業計画案：渡邊理事長

- ・議案書により提案。
- ・2013年度も6大会の開催を予定。
- ・国体は、東京都の三宅島での開催。派遣費用を30万円計上しているが、詳細が決まっていない。派遣人数を減らすことも検討する必要もある。
- ・2016年のオリンピックでは、パラリンピックが併設され、初めて、パラが加わることになる。

GP 三木大会では、パラ関係を受け入れて、4年目になる。今年から、全盲と弱視でカテゴリーを分けることになる。三木は、ローカルルールで運用するが、横浜の大会は、ITUルールが適用される。

兵庫から、パラリンピックに出場できるような選手が出れば良いと願う。

- ・審判講習:6月のGP三木での大会にスタッフ参加された方に実施。計画はあるが、決定ではない。(水野技術審判委員長)
- ・審判派遣については、近畿ブロックの拡大会議で、提案し、新年度の事業として、具体的な検討を開始した。横浜の世界選手権大会は、費用を計上して、神奈川県からの募集を待っている状況。5/11~5/12 120名、5/9~5/10 20名と連絡を受けている。  
但し、兵庫は、県民体育大会の総合開会式と日程が重なっており、開会式を優先する。
- ・2013年度のJTU認定記録会の兵庫会場は、3/9に決定。  
近畿ブロック内の京都と大阪へは連絡済。
- ・第3号議案は、議案書の通り承認された。

● 第4号議案 2013年度予算案：的場副会長

- ・議案書により提案。2013年度は、会員登録数600人で算定した。

- ・質問：三宅島で開催する国体派遣の体制はどのようになりますか。

回答：過去の新潟・千葉国体は、団長の私、八尾国体委員長（監督）、車強化委員長（メカニックと支援）と選手2名で参加。

昨年の岐阜は近いこともあり、仲宗根団長、八尾国対委員長（監督）、山本副理事長と選手2名で参加した。仲宗根、山本は経験を得る意味もあり、参加してもらった（渡邊理事長）。

→国体派遣にメカニックは不要ではないか？（田中理事）

→経費を削って、強化練習費に回すべき。（大原常任理事）

→国体が正式競技になった時を考え、単年で考えるのではなく、団長、監督、メカニックというしっかりした体制を作っていく必要がある。（尾崎常任理事）

- ・質問：大会の収益が上がらないと意味がないので、大会参加費を値上げしては？（清水常任理事）

→大会参加費を上げても、HTAに還流するわけではなく、大会主管料を値上げしてもらわないとだめ。値上げするなら、JTU会員登録料。（水野副理事長）

→実際問題として、我々だけでは開催できない。我々は、競技主管の立場。

(的場副会長)

→JTU としても、会員登録料の一本化を図りたい考えだが、現実的には難しい。近畿は、概ね、3,000 円で統一されている。(渡邊理事長)

- ・質問：備品の中に壊れたものや使えないものが目につく。今、比較的余裕があるので、買い替えて、きっちりと準備した方が良いのでは。

回答：一番、問題なのが PC。あとは、個人所有やブロック内で対応可能。

(水野副理事長)

→仕事の関係で、PC やプリンターの中古品が手配できるので、協力できるかもしれない。(竹中氏)

→別途、相談させて欲しい。(山本事務局長)

- ・第 4 号議案は、議案書の通り承認された。

- 第 5 号議案 役員改選について

- ・副会長は、末松会長推薦により、明石大会で尽力頂いた榎本和夫氏が新任。
- ・第 5 号議案は、議案書の通り承認された。

- その他

(1) 榎本副会長の就任挨拶

末松会長は、中学からの先輩。明石トライアスロン大会は、第 1 回ということで不安の中、開催されたが、成功裡に終わった。

今後とも継続して、力を入れていき、明石大会を固定の大会にしていきたい。普及のため、微力だが、頑張っていく。

(2) 会員からの一言

- ・太田理事：青山トライアスロンクラブ所属。これから大会に出ながら、裏方も協力していきたい。
- ・石原氏：相生市。68 歳。宮古島は、65 歳で参加できない。アイアンマンは、80 歳でも参加できる。この問題を解決できるように協会から、ひと声かけてもらえないか？

→宮古島大会は、独自性が高い。長い間、JTU が関与もできない大会だった。

水死事故が起きてから、JTU が後援に入ったが、地元実行委員会がかえって中心なのは変わらない。

協会からというより、草の根的に声を集める方が良いのでは。(渡邊理事長)

→65 歳の件は、宮古島だけ、他の大会には普及しない。大丈夫だと思う。(大原常任理事)

- ・竹中氏：灘区です。審判資格を取りました。よろしくお願ひします。

- ・藤井氏：神戸です。審判活動で協力します。去年の加西は、選手でしたので、とても残念でした。
- ・山下氏：2012年は、ほとんどの大会に審判参加しましたが、今年は、職場が変わり、週末が休めませんので、あまり、参加できない。来年は、また、頑張ります。
- ・伊藤氏：高年齢になってから、始めました。デュアスロンから入りました。
- ・林氏：石飛教室所属です。去年の日和佐でデビューし、たくさん、ウエアを買いました。初心者なので、前が詰まっていると苦しい。前開きウエアは、エイジの大会でもだめですか？

→JTU のルールでは、JTU 主催、協賛大会は完全実施。

ローカルルールで認める大会もあるので、運用は、各大会の HP で確認ください。今年の日和佐は、明確なコメントはまだ、出ていない。

ロゴ表示もルールが決まっているので、注意が必要。(水野技術審判委員長)

→現実的に、前開きでないウエアが手に入らない状況になっている。

(石原氏)

→5月に開催される横浜の大会が JTU の目指すレースのイメージだ。

このようなエリートの大大会を見ることが良い。エリートの大大会は、将来的な姿を見せている。(尾崎常任理事)

#### (6) 閉会宣言 的場副会長

以上